日本共産党 京都市会議員 くらた共子（ともこ）

いのち輝く市政を

みなさんの日頃のご支援に感謝いたします。

くらた共子は、昨年、決算議会の本会議で代表質問を行いました。

くらしを壊す行財政改革、住民を追い出す開発、大企業を呼び込む一方で地場産業への支援がなおざりであることを指摘し、市長に転換を迫りました。

詳しくは党議員団の動画をご覧ください。

▲動画はこちらから

憲法9条守ろう

総選挙の結果、改憲勢力は国会で発議ができる3分の2以下となりました。

日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞に選ばれました。ここに世界の流れが示されています。

今こそ日本政府は、核兵器禁止条約に調印し、9条を活かした外交で東アジアの均衡ある発展に努力するべきです。

公文書保存は「知る権利」

京都市歴史資料館で公文書の保存と管理、歴史的公文書の扱いなどについて担当者より聴き取り、視察しました。

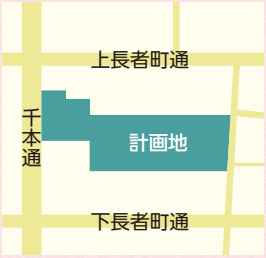
市民の知る権利、後世の検証に応える公文書の保存管理は民主主義の土台です。この役割を担う体制と施設の充実が必要です。

マンション建設計画の抜本見直しを！

上京区千本通上長者町下る革堂前之町に、千本通側は地上7階、東側は3メートル盛土した整地に地上5階の3棟の住居棟と、敷地北側に5層の機械式駐車場を建設する計画が示されました。

住民は、事業主である京阪電鉄不動産株式会社と九州旅客鉄道株式会社に対して建物全体のボリュームの圧縮、機械式駐車場の建設見直しを求めています。

くらた共子は、市会で近隣住居への影響を示す基礎資料の提出は必須と指摘、事業者指導を要求しました。



くらた共子のみみをすませば

障害者に寄り添い

「障害基礎年金支給の知らせ、嬉しい！」

精神に障害を持つ方から「区役所で初診日が特定できないなら無理と言われ、諦めていたが、将来が不安でたまらない」と相談が寄せられていました。

わたしは、精神症状が現れて以降の経緯を何度も聞き起こし、相談者のお母さんが当時、区役所や保健所に相談していた事実の確認を行政に促し、相談者に寄り添う努力を求めてきました。

障害基礎年金受給申請のために主治医や相談員の方のご協力もいただきました。

今回、受給が決まったことは喜ばしいですが、わたしは、障害があるが故に充分な所得を得られない方々が、利用しやすい制度に改善しなければならないと考えます。

京都市中京区河原町御池
京都市役所内
日本共産党市会議員団 TEL.222-3728
くらた共子